



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2018年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔つくば de プレイパークひろめ隊〕（茨城県つくば市）

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-214.html>

1年間の活動の概要

- ・毎月第一日曜日に地域のこだわりのお店が並ぶマルシェ「つくいち」の一角でプレイパークを開催。次第に認知度が上がり、平均50名以上の来場者がある。現在のところ火は使えないが、さまざまな遊びを工夫している。
- ・2018年10月にはつくば市で行っている乳幼児学級の企画として子どもの目線、ペースで見守る企画を行い、それ以来保育の視点が変わり楽になった、という声が寄せられている。
- ・2018年11月には日本冒険遊び場づくり協会との共催で「外遊びのプロに聞く。遊びこそ天才を育てる」講演会（70名）＋プレイパーク（250名）を実施。公立幼稚園の園庭開放など、画期的な企画で多くの来場者があった。
- ・2019年1月には協会代表の関戸博樹氏を招いたドイツ報告会を開催した。定員45名が満席となる盛況ぶりであった。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

つくば市は広く1箇所のプレイパークでは自力で子どもが通える環境にならないことから、行政とタイアップして身近な公園での遊び、また乳幼児学級を通して遊びの大切さを広げる活動に力を入れたい。もう一度園庭開放のプレイパークを行い、現役の保育士、幼稚園教諭の参加を呼びかけたい。メンバーの技術力（救急対応、遊びのアレンジなど）を上げたい。



赤ちゃんも遊んでます！
(2018年11月4日開催)

【運営メンバーから一言！】

子育て世代が多いつくば市。
今こそプレイパークを！

(代表 坂口 暁詩)

【協会から応援メッセージ！】

子どもが遊ぶ”環境づくり”にとっても力を入れているのが印象的でした。それは、イベント当日だけのものではなく、遊びの大切さを広げていくうえでも大切だと思っています。これからも、たくさんの人たちを巻き込んで冒険遊び場”づくり”を楽しんでください。応援しています。

日本冒険遊び場づくり協会 担当委員 廣川和紀



▲秘密基地！？(2018年11月18日開催)

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <http://bouken-asobiba.org>